

日本農業気象学会 2010 年度第 4 回理事会議事録

日 時：12 月 8 日（水）13:00～17:00

会 場：東京大学農学部 7 号館 A 棟 7 階 718 号室（演習室）（東京都文京区弥生 1-1-1）

出席者：岡田、青木、大政、朝倉、五十嵐、大野、菅野、後藤、平野、松岡、皆巳、吉本

欠席者：小沢、北野、蔵田、黒瀬、小林、菅谷、田中、星、町村、皆川

[議事録確認]

1. 2010 年度第 3 回理事会議事録報告（資料 1）

メール会議での一部修正を確認し、承認された。

[報告・連絡事項]

1. 2011 年度大会の進捗状況（資料 2）

北野実行委員長欠席につき、平野総務理事により ISAM2011 及び 2011 年度全国大会準備状況について報告された。

2. 編集委員会報告（資料 3）

松岡編集理事より編集委員会報告があった。

アドバイザーボードの更新にあたりメンバーの所在確認と意思確認の必要があるが、情報が古いため連絡がつかない場合がある。人選の見直しだけでなく、目的、委嘱の仕方等について編集規程を整備する必要あり。メンバー候補者の推薦方針・方法について意見が出され、次回理事会までに編集委員会が案を作成することになった。

3. 学会賞表彰と永年功労者表彰について（資料 4）

菅谷表彰担当理事欠席につき、平野理事が代理報告した。永年功労者候補者推薦について、名簿の不備（生年月日、入会年）や、定年後の居住地移動で支部推薦が困難となるなどの問題が出された。

4. 役員選挙について（会長，副会長，学会賞審査委員）（資料 5）

大野選挙管理委員より 2011、2012 年度役員選挙結果が報告された。学会賞審査委員、永年功労会員についてそれぞれの委員長を互選中。委員長が決まり次第、名簿を整える。

5. 日本農学賞受賞候補者の推薦

平野総務理事より、理事間のメール審議の結果、情報学会との共同推薦で大政会員を推薦することとなった旨報告があった。

6. 研究部会規程の文言修正

研究部会規程の文言修正について、理事間のメール審議の結果、特に意見がなかったため、決定となった。

7. 学会宣伝用のポスターおよびチラシの作成（資料 6）

青木副会長より、学会宣伝用ポスターの公募要領が提案された。応募先は庶務理事とする。写真、図版の著作権に留意し、本人が撮影、作成したものとするなど、注意事項追記について青木副会長が文案を再考し、募集記事を学会ホームページに掲載することになった。チラシ案についても、青木副会長が再検討し、徐々に改訂していく。

8. その他

1)他学会関係

- ・日本農学会（アンケート）（資料 7）

平野総務理事より農学会からのアンケート集計結果の報告があった。

- ・日本農学会 H23 年度の運営委員と評議員（資料 8）

日本農学会事務局の加盟学協会調査に対し、平成 23 年度評議員を岡田益己会長、同運営委員を吉本庶務理事（2011 年 3 月から）として回答した。

- ・日本農業工学会フェロー推薦依頼（資料 8）

日本農業工学会平成 22 年度フェロー推薦依頼に対し、真木太一日本農業工学会理事が対応しているが、学会庶務理事等が真木理事と連絡を密にとり、推薦の基準、推薦者の情報などの状況を学会に知らせるよう依頼することとなった。

2) 協賛，後援（資料 8）

資料により報告された。

3)その他

- ・機関別認証評価委員会専門委員候補者の推薦（資料 8）

岡田益己会長、青木正敏副会長、大政謙次副会長の 3 名を推薦することとした。

- ・CrossRef Metadata Services (CMS) 参加

科学技術振興機構 知識基盤情報部による CrossRef Metadata Services (CMS)について、学会として今後も継続して参加の意向である旨、承認された。

- ・理事会経費について

理事会にかかる交通費、編集、庶務経費について、12 月 18 日を目処に五十嵐理事に請求す

る。

・日本地球惑星科学連合（JpGU）第3回学協会長会議参加報告

11月22日に開催されたJpGU第3回学協会長会議に参加した大政副会長より、参加報告があった。本連合は、連絡委員等を通じての情報提供、大型プロジェクトへの意見募集等を目的とし、政治的に発言していく団体であるので、会費に無理のない限り学会として参加していく方がよいと判断される。また、セクションボードの名称変更、フェロー制度の創設の動きなど状況について説明された。

JpGUに関連して、JSTの演題登録システムの停止のアンケートについては、平野理事が代表して回答した旨の報告があった。

[審議事項]

1. 日本学術会議会員及び連携会員の候補者に関する情報提供について（資料9）

新旧会長・副会長職より岡田益己会員、青木正敏会員、大政謙次会員、小林和彦会員の4名と、女性枠として奥島里美会員、吉本真由美会員を候補者として情報提供することとした。Webによる登録期間中に庶務理事が届け出るものとする。

2. CIGR国際シンポジウム2011学術企画開催依頼について（資料10）

2011年9月21日の学術企画開催依頼について、研究部会に情報を流し、企画を募ることとした。温暖化フォーラム第2弾の開催も考えられる。

3. メール広報の仕様変更についての提案（資料10）

吉本庶務理事より農業気象学メール広報の現状の問題点が示され、情報の整理と合理化に向けた仕様変更の提案がなされたが、了解が得られなかった。

4. 会則改正（会員名簿の配布を中止する件）について（資料11）

会員名簿の配布を中止するにあたり、会則の会員の特典の修正文案が、平野理事より提示された。

5. 会則改正（終身会費制度の文案修正について）（資料12）

終身会費について会則の修正文案が、平野理事より提案された。

以上2件の会則修正文案は承認され、次回総会にかけることとなった。

6. 学会賞賞牌について（資料13）

岡田会長より、新しい賞牌作成に関して経過が報告された。前回の訪問で藤井浩一朗氏に

マスター作成にかかる前納金（15万円）をお渡しした。1台15万円、初年は5台作成予定とし、次年度会計に計上する。本理事会翌日に、岡田会長と五十嵐理事が再度挨拶に伺い、デザインのマイナー進化についてなど今後の方針について話し合う予定。

7. WMO 農業気象委員会議長からの提案について（資料 14）

岡田会長より WMO 農業気象委員会議長である韓国気象庁の Lee 氏からの依頼について説明があった。中国を含めた東アジア諸国の農業気象学会協議会の委員として小林会員に依頼済みである。学会として積極的に協力する旨、理事会にて了承し、小林会員、宮田会員が対応し鹿児島大会等で打ち合わせを進めることとなった。

8. 惑星連合（JpGU）からの英文ジャーナル普及支援（資料 15）

編集委員会での議論について松岡編集理事より説明があり、学会誌（Journal of Agricultural Meteorology）の表紙に JpGU ロゴを入れることとした。

9. 編集委員会規程について（資料 16）

特別編集委員の新設に係る文言の修正について了承され、本日（12月8日）付で発効する。

10. 学会誌の投稿規程、原稿作成要領について（資料 17）

ディスカウント料金やコレスポンディングオーサーの記述、和文誌に英文アブストラクトをつける等、投稿規程と原稿作成要領について了承され、新年度（2011年1月1日）付で発効することとした。

11. 出版社版リポジトリについて

松岡編集理事より説明があり、承認された。

12. 2010 年度予算の途中経過と 2011 年度予算（案）（資料 18、19）

松岡編集理事より、養賢堂との契約更改についての説明があり、了承された。

五十嵐会計理事より、農業気象の英文誌化（和文論文の電子雑誌への掲載移行）に伴う支出変化の見積もりと、それを踏まえた 2011 年度会計予算案が示された。「生物と気象」の原著論文・講座・解説・研究トピックスの原稿整形作業については、予算と労力を勘案しつつ当座は養賢堂に依頼することとした。

13. 学会ホームページについて（資料 20）

皆巳ホームページ担当理事より、サーバ移転についての経過と今後の作業について報告があった。国立情報研による支援の終了は 2012 年 3 月末であり、業者の情報を収集中。

HP に掲載の「学会の理念」の文章については今後、岡田会長が改良案を作成し、形態の統

一や内容の整理・更新を行うこととなった。農業気象の英文誌化に伴う HP 内の表記の変更については、最低限の修正を1月1日付けで行い、全体の修正を総会の頃までに行う。

14. 学会運営について

岡田会長より、学会運営の今後の方針について意見が出された。これまで終身会費制の創設など、会員を「減らさないため」の方策として各種改革を行ってきたが、今後は前向きな対応策を考える必要がある。論文誌の充実、研究部会、フォーラムなどを通じて推進していただきたい。ホームページの改善も必要。

15. その他

- ・公開シンポジウム「地球温暖化の農業・地域への影響と適応策」の紹介
- ・理事会と編集委員会のスケジュールについて

松岡編集理事より、編集委員会を理事会の前に開催するのが効率的であることから、理事会の1年のスケジュールを決めておいてほしいとの要望があり、次期総務理事へ引継ぐこととした。

- ・次期理事の候補者選出作業についての経過報告
- ・英文誌ジャーナル ISI 登録に向けた長期的戦略の必要性が、次期編集委員会への要望として挙げられた。
- ・全国大会開催時期について

3月開催だと就活の学生が出られない問題があり、今後必要に応じて検討する。